

釧路市中心市街地活性化協議会 第1回運営委員会議事録

日 時：平成28年5月13日（金）13：30～14：50

場 所：道東経済センター 3階 会議室

出席者：運営委員11名

事務局12名（市7名・㈱まちづくり釧路1名・釧路商工会議所4名）

オブザーバー関連機関事務局5名

計28人

次 第：1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

(1) 釧路市中心市街地活性化協議会提出議案について

・次 第

・委員・オブザーバーの変更について

・平成27年度事業報告並びに収支決算報告について(監査報告)

・北大通再開発事業の推進状況について

・平成28年度事業計画並びに収支予算案について

・役員改選について

(2) その他

4. 閉 会

1. 開 会

事務局より開会を宣す。

引き続き、出席運営委員、オブザーバー、事務局の変更について紹介する。

2. 挨 拶

《運営委員長》

5月12日より、北大通3、4丁目の再開発工事が進んでおり、4丁目は平成30年2月、3丁目は同年6月に完成を予定している。本日は6月に開催する釧路市中心市街地活性化協議会の提出議案について検討したいので忌憚のない意見をお願いしたい。

《事務局》

運営委員長を議長とし議事進行をお願いする。

3. 議 事

(1) 釧路市中心市街地活性化協議会提出議案について

《議長》

釧路市中心市街地活性化協議会提出議案について、事務局に説明が求められた。

《事務局》

・ 協議会開催日程について

第1回釧路市中心市街地活性化協議会開催日について、6月2日(木)15時00分を予定していることが報告された。

・ 平成27年度事業報告並びに収支決算報告について(監査報告)

資料3「平成27年度 事業報告書・収支決算書」に基づき、開発事業者との折衝、地権者の同意状況、テナントリーシング活動、会議研修会等の開催状況について説明された。また、収支決算書の内容について説明され、合わせて4月27日付けで監査が行われたことが報告された。

・ 北大通再開発事業の推進状況について

再開発事業者であるアルファコート(株)より、6月2日開催の協議会にて直接推進状況の説明を頂く旨が報告された。尚、事業スケジュールについては、6月にテナント賃料等が出される予定である他、解体工事が平成29年1月までを予定していることが説明された。

・ 平成28年度事業計画並びに収支予算案について

資料5「平成28年度 事業報告書・収支決算書(案)」に基づき、説明された。また、昨年開催したトータルプラン作成支援事業「調査コース」検討結果概要について、アンケート等の集計結果が説明された。

・ 役員改選について

資料6「役員改選について」に基づき、現行の役員名簿と、役員改選(案)について説明された。尚、改選については原則留任の方向で進めており、団体の改選による代表者の変更等を反映させることが補足された。

《議長》

事務局より説明された事項について、議場に意見が求められた。

～質疑応答・意見・補足説明等～

《行政》補足

再開発が進む中で、具体的にまちなかにどうにぎわいを持たせるかが大切となってくる。

新年度は市でも空き店舗の活用、創業融資制度の拡充、事業所への伴走支援などを積極的に行っていく方針であるため、ぜひ関係各位の協力をお願いしたい。

また、観光立国ショーケースのモデル都市に選定されたことを受け、釧路市の潜在的な魅力が認められたと考えている。海外からの観光客をどう満足していただくかを考える中で、個店や商店の魅力アップは必要不可欠である。協力をお願いするとともに、にぎわい創出へ向けた市への意見もいただきたい。

⇒《議長》

会議所としても行政と連携し、進めていきたいと考えている。

《委員》**意見**

トータルプランのアンケート結果には「安全・安心・綺麗」といった意見が多数あり、大きく賛同するところである。その中で花壇の雑草取りなどは各店舗、商店街で行うべきと考えている。代表を務める団体でも協力しているがまかないきれず、綺麗なまちを保つための意見交換を積極的に行ってほしい。

⇒《行政》

確かに評価の高いまちは総じて自らが清掃など積極的に行っている。多くの方から協力を得て進められる仕組みを意識したい。

《委員》**意見**

花壇についてはボランティアも上手に活用しつつも、責任の抛り所を決めていければと考える。

中心市街地の再開発が進む中で、ソフトの重要性も高まってくる。先日オープンした「なつかし館」などのように、自分のまちをどう楽しめるようにするかは大切である。

また、8月末にはアベニューが閉店すると、これまで管内からJRで来て、病院に行き、駅前に集う人の姿も減ってしまうため、対策が必要であると考えます。

⇒《議長》

アベニューについては、耐震の関係上、3階以上が使用できない状況であった。今後の動向については、情報収集に努めたいと考えている。

《副委員長》**質疑**

アベニューについては28店のテナントが入居していたとのことで、特に橋南地区の住民からは馴染みの場所であったことから、周辺の方にとっては大切な場所であったと思われる。移転先として北大通の空き店舗も活用し、商売を継続させられるような施策は必要であると考えますがどのような状況か？

⇒《議長》

和商での受け入れや北大通の一部の空き店舗の活用が決まっているとのことである。

⇒ 《行政》

アベニューのその後の動きには注意を払い、市商連や会議所との連携の基、継続を希望する店舗についてはしっかりとサポートしていきたい。

《委員》意見

アベニューテナントの移転先については共栄地区にも相談に来ており、地域全体で考えていきたい。中心市街地の活性化を進めるにあたって、「地域の連携」という視点も忘れないでほしい。まち全体をどうしていくのかを話し合い、民間から意見を述べられるようなまちになればと考えている。

以降、質疑及び意見等はなく、以上の事項が協議会に提案されることが承認された。

また、その他全体を通して意見が求められたが、特に意見等はなく議事の終了が述べられた。

4. 閉 会

事務局より閉会を宣す。

以上